

こどもニーを応援してくださる皆さまへ

新年あけましておめでとうございます

寒い日が続いていますが、寒さもふきとばすような楽しいお正月を
過ごされてると恩ります。

昨年は、放課後児童クラブ、児童委託の暮ら暮ら、4月から
採択が決まりました。1年うち、250回以上を越す場など、より
一層楽になるように、地域の人たちと一緒にやってきた」と恩ります。
先日、児童クラブに通う、フレーベル園にも遊びに来ている子が、「けちゃん
はいつ児童クラブに遊びに来てくれるの?」と言いました。また、隣の部屋
保護者が、「けちゃんたちが○ひーの運営をするなら、うち、子を
転校させようかな……」という声をいただきました。待てると、こどもニー
を信頼してくれる保護者、ピカピカと喜んでいました。

今年も盛りだくさんの楽しいことが待っています。

子どもを真ん中に、ワクワク樂しく笑顔を届けるために、

スタッフ一同が前進していくのですが、今年はどうぞ
よろしくお願いいたします。

こどもの感ぱにー

代表理事 因中雅子



こどもの感ぱにー

こどばにー通信

こどばにーNEWS

新春号 Vol. 37

発行日:2023年1月1日



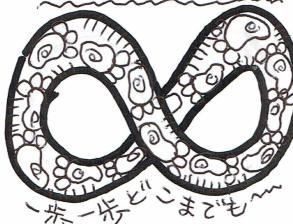
こども
感ばにー

~いつも仲間と一緒にいて、驚くとコロコロ丸くな、可愛..たんご虫は、子供も産の大好きな友達~



おかげさまで設立 10 周年♪

今年の一文字は **むげんだい**



新年あけましておめでとうございます。

今年は各地で大寒波となり、寒い冬を過ごされていることと思います。

そんな中、こどばにーは1月15日で設立10周年を迎えることとなりました。

海から500mの場所にある被災した公園を遊び場として再開させたいという、地域の人の想いがきっかけで活動が始まり、これまで子どもや地域のみなさんと一緒につくりました。

この10年間、いろいろありましたね~

笑ったり泣いたり…たくさんのドラマがありました。

私たちは、その子ども一人ひとりが成長していくドラマの一部に出演させてもらい、子どもたちの成長を見守らせていただきました。

そして更に、保護者や地域の人たちと一緒にそれができたことをとても嬉しく思います。

先日、2012年から設立の年まで、黄金浜ちびっこ遊び場(今のプレーパークわたのは)に、いつも遊びに来ていた近所の小学生が母親となり、小さな子どもを連れて訪ねてきました。

自分が過ごしたプレーパークで我が子を遊ばせる姿は、時の流れを感じると同時に、当時と変わらず

『ここ』にプレー

パークがあつて良かったな~と感じさせてくれた温かい時間でした。

「あの頃なにして遊んでいたか覚えてないけど、とにかく来ては、いつも何かしてたよね」と二人で笑いながら話していると、思い出がどんどんよみがえってきます。

そこに中学生が「この子可愛い~♥」といって彼女の子どもと遊び始めました。

小さい子に合わせてボールを投げたりカエルを見せたり…。その光景を、当時小学生の子どもと一緒にみるなんて思いもしませんでしたが、これがこどばにードラマの一つなのだと思います。



10年間のドラマにはたくさんの人人が出演してきましたが、これからもそれは増え、そしてつながり、ドラマは『無限大』に続く予感がします。

みなさん、これからも温かく見守ってください。そしてたくさんのお出でをお待ちしています♪

代表理事 田中雅子(通称:けろ)

☆認定NPO法人こども∞感ばにー(愛称:こどばにー)とは…

2011年の東日本大震災後、宮城県石巻市の地域の大人とともに子どもの遊び場づくりをきっかけに活動が始まりました。私たちは“子どもの笑顔が地域のなかで育まれるまちに”を理念に、地域のみんなと一緒にプレーパークやフリースクール事業を行っている団体です。

2023スタッフからのご挨拶



けろからのご挨拶



<今年の漢字>



「樂しく 笑 こわくわくするヒキにつかう
漢字ごす ぬい

新年あけましておめでとうございます
こどぱにーは1月15日で設立10周年を迎えます。
多くの人と一緒につくり、そして支えられてきたこ
とに心より感謝申し上げます。
長いようで短い、あつという間の10年でしたが、た
ーくさんの子どもたちと出会い、育ててもらった気
がします。一生に一度しかない「10周年」だから、楽しいことを企画して、
“こどぱにーのこれから”を伝えていきますね。
今年もみんなで、笑って笑ってたくさんワクワクしましょう♪



ロッキーからのご挨拶



あけましておめでとうございます！

2022年はあつという間でした。ぼはっくの登録数が
例年よりも大幅に増え、目まぐるしく過ぎたように感
じます。また、プレーパークを離れてフリースクールに
専念することになりました。だから今は、プレーパークのレアキャラ枠です
(笑)現場が変わり、主で関わる子どもも変わりましたが、『子どもにとって
安心できる環境の一部になる』という、大切にしているスピリットは変わ
りません！2023年も頑張るぞー！

<今年の漢字>



えいっちょからのご挨拶



あけましておめでとうございます！

旧年中は大変お世話になりました。

新年もどうぞよろしくお願ひします。

今年は1月にこどぱにー設立10周年を
迎えます。私の今年のミッションは、こど
ぱにーがこれまでやってきたことをたくさんの方に伝えて、子
どもの環境を良くしていく仲間を繋げて増やしていくことにし
ます！

<今年の漢字>





なおたろうからのご挨拶

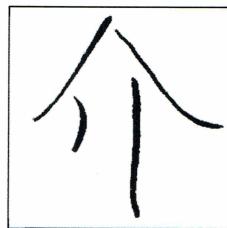


あけおめです！

今年は、いろんな人の間に入つて意見や利害を調整していくぞ～、という気概を込めて、「間をとりもつ」という意味を持つ「介」という漢字を選びました。「介」は、上記の他に「別ける」というアンビバレンスな意味もあるとのこと…。人の間で右往左往する自分が目に浮かぶぜ！

今年もよろしくお願ひします！

<今年の漢字>



みーからのご挨拶

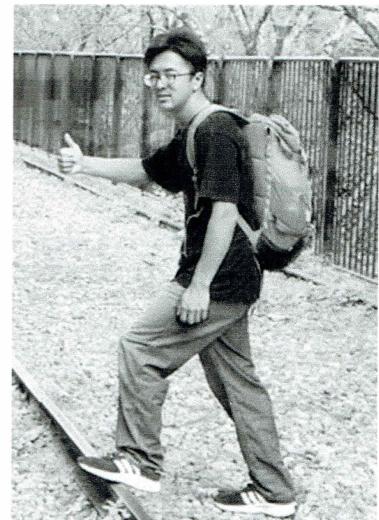


新年あけましておめでとうございます。

こどばに一の一員となってから、もうすぐ2年が経とうとしています。まだまだ力不足で、落ち込んでしまうこともあります。後ろ向きになり過ぎず、「成長できた」と自分で思えるように、一歩ずつ前に進んでいきたいです。

今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

<今年の漢字>



わこうからのご挨拶



考えることももちろん大事。でも考えているだけでは現実は何も変わらない。

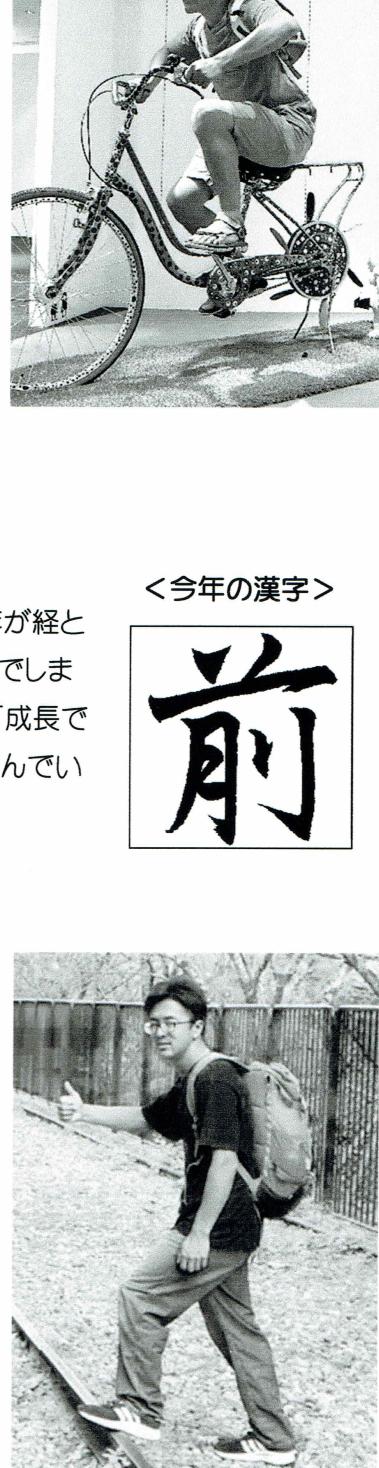
あなたは何を、どこを目指しているのだろう？

もう十分考えただろう。やれることはみえているだろう。

あとはもう動くだけだ。とりあえず動け。動いたらその先でしか考えられないものがたくさん出てくる。

今年のわこうは「とりあえず動く」ことを大切にしていきます。

<今年の漢字>



もっちゃんからのご挨拶



あけましておめでとうございます！

新年の漢字は「躍」にしました。こどばに一のスタッフとして昨年よりも更にパワーアップできるように、プライベートでも結婚2年目ということで、昨年に引き続き胸が躍るくらい楽しい1年を過ごせますようにという想いを込めました。スタッフとして仲間入りして早半年。今年は、こどばにーメンバーの一人として、さらに大きく飛躍していきたいです。

どうぞ今年もよろしくお願ひします！

<今年の漢字>



地域で子どもを育みます！

●渡波かたろう会

渡波かたろう会は、「自分たちも楽しみながら渡波をよくしていこう」という思いを持った地域の仲間の集まりです。

ハロウィン行進&秋祭り開催！(ハロウィン行進)

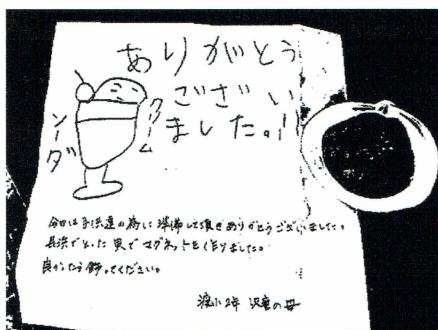
(秋祭りの様子は p.5 の「プレーパークわたのは」にて！)

「石巻の街中ではハロウィンのイベントがあるのに、どうして渡波にはないの？」そんな子どもの声から始まったハロウィン企画。

渡波かたろう会、子どものためにと協力してくれた地域の方、中学生・大学生ボランティアなど、総勢 60 名以上の方のお手伝いのもと開催することができました！

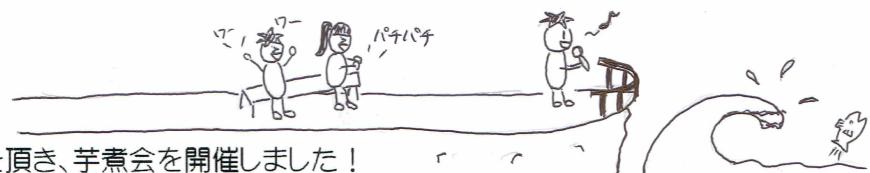
参加者は大人子どもあわせて、なんと 77 名！

子どもたちは思い思いの仮装に身を包み、スタート場所にやってきました。中学生にメイクをしてもらったり、お菓子を入れるバックをつくったりして、いざ出発！ 目印のあるお家を探し、目印が見つかると「あった！」と宝物でも見つけたかのように目をキラキラさせて駆け寄っていき、「トリックオアトリート」の掛け声で地域の方からお菓子をもらうと子どもたちは大喜びでした！



地域の方からは「子どもたちと関わってこちらが元気をもらいました」「また協力するからぜひ来年もやろう」と嬉しい言葉をいただきました！ 協力してくれた方も含めて、みんなが楽しみながら地域全体で開催したハロウィン行進となりましたー！！

【後日談】 協力してくれた地域の方から、「お返しにお手紙と手作りのマグネットをくれた子がいて感動しました！」と教えていただきました。こういう交流が自然と生まれるのも嬉しいですね！ (わこう)



海に歌う移動あそび場

10月末に雄勝波板地区の方々に協力を頂き、芋煮会を開催しました！

波板の砂浜は山から流れ込む沢水によって行く度に地形が変化して面白い場所です。子どもたちのあそびによって変化し続けるプレーパークのようです。

この日は特に地域の方のあそび心で浜辺にカラオケがセットされ、参加した子どもたちや、大人が海に向かって代わる代わる歌っていました！ T君曰く「ここなら緊張しないで歌えるー！」芋煮は風や小雨に負けず子ども達と地域の若者とで持ち寄った具材で作りました。

雨も強くなつたので地域の方のお言葉に甘えて、地域交流会館に移動しみんなでいただきました。「いろんな具が入つてると美味しいよね！」と、地域の方々がとても喜んでくれていました。その様子に子どもたちも嬉しそうでした。

いろんな具が入つていると美味しいのと同じで、多様な年齢の多様な人が集まる場は本当に面白いと改めて感じました。ご協力頂いた波板地区の皆さんありがとうございました！ (えりつちよ)





ハロウヰン行進&秋祭り開催！(秋祭り)

(ハロウヰン行進の様子は p.4 の「地域で子どもを育てちゃおう」にて！)

ハロウヰン行進のあとは、ゴールのプレわたでそのまま秋祭り！

今年の子ども出店は、なんと総勢 10 店舗。

ジュエリー屋、くじ引き屋、輪投げ屋、射的屋、お菓子釣り、ミニ四駆体験コーナー、スライム屋、アクセサリー屋、イラスト屋、雑貨屋。

プレーパークとフリースクールの子どもたち、親御さんや地域の方々といろんな人がごちゃまぜになったお祭りでした！

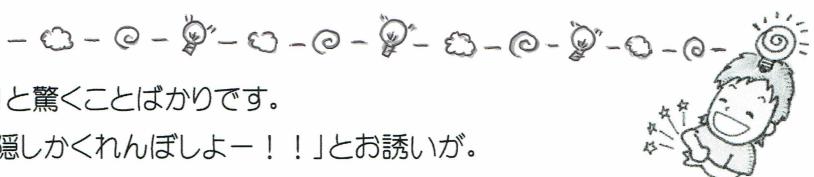
イラスト屋で似顔絵を描いてもらったお父ちゃんは「絵もうまいし、話も聞いてカウンセリングもしてくれる。なんていいお店なんだ！」と感動の涙。

子どもも「楽しかった、次はいつやるの！？」「自分の創作物を買ってもらえて嬉しかった！」と大満足な様子。

本当に1日通していくイベントだったので、毎年続けて、地域に根付いたものにしていきたいな。(わこう)



子どもたちの発想ってすごい！！



プレわたで子どもたちと遊ぶと「すごいなあ～！」と驚くことばかりです。

ある日、ゴールドビーチの中で子どもたちから「目隠しかくれんぼしょー！！」とお誘いが。



「ん？」目隠し“かくれんぼ”？？？」

どんなルールなのか聞くと、なんと鬼が目隠しをすること。今まで遊んでいた通常のかくれんぼでは、隠れる場所が限られていて子どもたちの中でもマンネリ化していました。

一方で目隠しかくれんぼは、鬼の目が見えないので、堂々と部屋の隅っこやテーブルの下など、見えるところに隠れても大丈夫です。隠れられるところが一気に増えたので、子どもたちもとても楽しそうに遊んでいました。

一つの遊びも、ちょっと工夫すれば、また違った遊びになるんだなあ。

子どもたちの発想に脱帽！！

(もっちゃん)

ボランティアの思い



7月からボランティアに入っている道産子のもっさんこと高梨萌都です。

「社会が変化するキッカケは遊びの中で」を理念に、将来は教育を変える人になりたいと思っています。

「なぜ毎週のように子どもと関わっているのか？」と思われますが、ここでの関わりは自身の価値観を振り返ることと“いま”的子どもを知るためです。子どもの笑顔や自由に遊ぶ姿から元気を貰い、その瞬間でしか起こらない化学変化から自分が何か忘れていたことを思い出す素敵なお時間となっています。

また、企画に参画することや日々起こる問題にしっかりと振り返り考えることで、大学ではできない学びを得られています。

子どもの発想力や想像力に刺激を受けながら、子どもと共に成長していきます。

今後ともどうぞよろしくお願ひします。

(もっさん)



プレーパーク ひがこー

雨の日のひがこー

プレーパークわたしはとは違い、ひがこーには室内がありません。

それじゃあ雨が降ったらプレーパークはできないのか？

いえいえ違います。雨が降ったら、ブルーシートで屋根をつくって雨宿りしながら遊んでいます！（なんなら雨も気にせず、走り回る子もいます（笑））

そして、子どもにとっては屋根張りも遊びの1つ。

のぼり棒のようにバーゴラをのぼって器用にひもを結んだり、木で杭を作つて打ち込んで柱にしたり。「秘密基地をつくっているみたいだね！」なんて話しながら、ワクワクの気持ちで準備しています！



屋根をつくり終わったら、この日はオセロが始まろうとしていました。

けれど、オセロの盤がなく、「じゃあ作ろう！」と子どもが持ってきたのは板とチヨーク。しかし、始まったのは崩し将棋ならぬ崩しオセロ。

そして、スタッフに1枚差で勝利し子どもは大喜び！（左の写真）

雨の日でも子どもの遊びへのワクワクとやってみようの気持ちは変わりません。

普段でもできるけど、雨の日だからこそやってみたくなる遊びもたくさん。

雨だから遊べないねではなく、雨の日でも楽しく遊んでいまーす！（わこう）



放課後児童クラブ受託しました～

“こどぽにー”は、2023年4月より渡波地区放課後児童クラブを運営することが決まりました。

2022年の10月、石巻市にある4つの放課後児童クラブについてプロポーザルが行われ、選考委員の方々から評価を受け採択されました。

なぜ、放課後児童クラブの運営経験がない“こどぽにー”が選ばれたのか。

これまでの渡波地区での10年間の「子ども支援の実績」が理由の一つだと聞いています。

ですが、実績はあくまで「過去のこと」でしかありません。私たちの活動の根幹にある、子どもの「可能性を信じる」ことや、「主体性を尊重し続ける」あり方が、いま放課後児童クラブの子どもたちに必要だから選ばれたのだと思っています。

開催日:水曜日

15:00~17:00

さくら公園

鹿妻小学校

鹿妻東公園

鹿妻内科クリニック

こども∞感ぱに一事務所

ヨークベニマル

ツルハドウガ

国道398

所在地:石巻市鹿妻南2-7



●放課後児童クラブとは
保護者が就労等により家庭に不在となっている子ども（小1～小6）を対象に、放課後や長期休みに家庭に代わる生活及び遊びの場を提供する事業。
かつては学童保育と呼ばれることが多かったが、社会情勢に対応し様々な法整備等が行われ、子どもの「居場所」として認識が刷新され、厚労省の審議会ではスタッフに必要とされる専門性として「プレイワーク」についても言及されている。

その意味では、放課後児童クラブも、プレーパークやフリースクールと何ら変わりがなく、これまでどおり「子どもたちのいま」と向き合い続けていく活動です。そしてそれは、自分たちだけでなく、保護者や地域の方々、子どもを支えていきたい心を一にする皆様とこれからも一緒にやっていくことに変わりありません。

と、そんなことを言っておいて「現実は難しい」とか弱音を吐いていたり、子どもがのびのびと放課後児童クラブで過ごせていなかつたら喝を入れてくださいね。正直、不安もいっぱいあります。応援がてら遊びに来てください。待ってます。（なおたろう）

ははくのフリ・スクール

毎週火・木・金曜日
10:00~16:00
当会事務所1階で開催
体験無料。減免制度あり

面接練習始動！

今年も受験に向けて対策をする時期になりました！受験生は今のところ2名。2人とも試験項目に面接があるため、本格的な練習が始動！



初回の練習は、『面接とは何か』を知るために対策プリントの読み合わせをすることに。

「初回だから30分くらいで終わろうか」と話していましたが、読んでいるうちに退室の練習も始まり、気付いたら1時間が経過。そのことを伝えると、「え！？早っ！全然気付かなかつた！」とのこと。

普段から「勉強は苦手」と話している子たちですが、夢中になっていることには、時間も忘れて集中できるんです。

本番まで残り2ヶ月。

最後まで一緒に走り抜けようぜー！

(ロッキー)

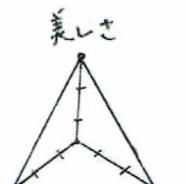
子ども主催のイラスト大会！

ある日の子ども会議で、「イラスト大会をやってみたいんだ！」と話す子がいました。ルールや審査方法、優勝賞品など、開催に関する準備をコツコツ進める主催の子。

審査方法は、事前に決めた基準でグラフを作り、それを用いるというこだわり。子どもの“やってみたい”への飽くなき探求心は、計り知れません！

優勝賞品は“お菓子”を準備し、大会当日。

参加者は思い思いのイラストを描いて審査員に提出しました。…がしかし、審査は行われず…
優勝賞品のお菓子はこっそり主催の子が



※グラフのイメージ

食べるというオチ(笑)そんな主催の子からのメッセージです↓

(ロッキー)

イラスト大会をやる事にならなかったので、じゅんひにはげました。そして大会当日はみんなユニークな絵を描きました。しかし、審査するひまもなく月日は流れていきました。なので、ルールや審査方法を直して二次大会がしたいです。

料理男子♪

ははくでは、よくスイーツ作りをするのですが、今回は男子2名がそれぞれスイートポテトとアップルパイ作りに挑戦しました。

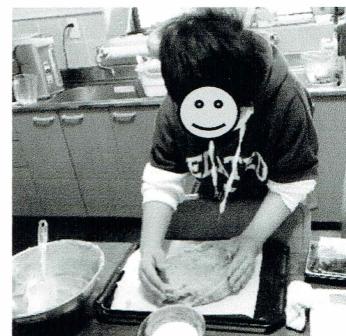
スイートポテトは、ちょうど誕生日を迎える子へ向けて大きなものを作ることに！

ホールケーキのような丸い形に整形し、オーブンで焼き上げました。大きなスイートポテトに、お祝いしてもらった子は恥ずかしがりながらもニコニコ笑顔♪

アップルパイは、なんと生地から作ります。レシピを見ながら薄力粉や強力粉を混ぜ合わせて…めん棒で伸ばして…。焼きあがったアップルパイを見て、「すげー！」「美味しいぞう！！」とみんなビックリ！！

スイートポテトでお祝いをし、アップルパイもじっくり堪能♪

作った本人たちは、みんなの笑顔を見て満足そうでした。(もっちゃん)



スイートポテト作り



アップルパイ作り



昨日までは元気だった…

其の 4

- 学校に行けない子どもについて、けろがメッセージをお届けするコーナーです。
- そしてここでは、彼らを“ピカリちゃん”と呼びますね。
- 理由はどんな子も**ピカリ**と輝いているから

ある朝突然、学校に行かなくなることがあります。親御さんは「昨日までみんなに元気にいってたのに…どうしてかわかりません」と話します。でもそれは、“突然”でないことがほとんどです。子どもは、随分前から学校に行きたくないと思っていても「学校は行かなきや行けない場所」「学校に行かないと親に心配かけちゃう」と、自分を奮い立たせ頑張って登校していることがよくあります。友達や先生の前では笑い、話しを合わせ…



それが長く続いたある日、頑張りの糸がぱつぱつと切れてしまうのです。

友達とうまくコミュニケーションが取れない。勉強が分からなくなってきた。理由はわからないけど、学校に行くのがしんどい。みんなと同じことをするのがしんどくて自分が自分でいられない。

ピカリちゃんから聞こえてくる言葉は様々です。

極度の緊張で、全身に力が入ったまま一日を過ごすため、体がガチガチに固くなった子や、お尻すら椅子の上で動かせなくなり、座布団を持参して授業を受けていた子もいます。

昨日まで元気だったのはその子が頑張ってきたからで、実は、子どもの心は悲鳴を上げていたのです。子どもも頑張っているんですよね～（けろ）



アウト プットって大切な♥

学校に行けない・行かないことを選択した子どもの親御さんが集まるおでんの会(親の会)を始めて1年が経ちました。

親御さんが自分のために時間を使うことが殆どない…という声から、ヨガや太極拳教室をプログラムに盛り込んだこともありましたが、最近は「もっと話す時間がほしい」という声が上回っています。(笑)

ということで、今は3時間たっぷり時間をとることに…
時間を長くしたらみなさん満足かな?と思いまや、「もっと話したい!足りない!」という声が更にあがります。

この時間は、保護者にとって必要な時間なんだな～と何度も感じる今日この頃です。 (けろ)

●まずは石巻から“不登校”という言葉をなくすネットワーク

「子ども一人ひとりが、自分にあった学びの場に出会い、安心して暮らせる社会をつくる」を理念に、
2021年5月に設立

多様な分野の市民が集って活動してます

次回のおでんの会は…

日期：2023年1月21日(十)

13:30 ~ 16:30

今慢 · 新蛇田第一集全所

石巻市のぞみ野 4-23

参加費：500円
定員：20名
(事前予約制)

お申込みは→こちら→





シンプルに考えられたらいいのにな

男女共同参画推進せんたいフォーラム 2022 で、“子どもたちと創る学びと未来”をテーマに、不登校・多様な学びを考える会を開催しました。

50名近くの方が来場し、講師・竹内延彦氏の話を真剣に耳を傾けていました。

私が竹内氏の話で共感したのは



竹内延彦氏

- ①不登校数を減らすことにこだわる弊害
- ②不登校より、我慢して登校し続ける子どもの方が心配

という言葉でした。

数は、「比較」や「傾向」を見るための指標なので、なぜ不登校になるのかを理解し、そのための仕組みや対応方法を見直した結果が「減少」です。その共通認識をも

ち「軸」がブレ

ないことが大切だと話して

くれました。2021年度の小中学校の不登校児童生徒数は24万人を超える(文部科学省調査)が、不登校になる手前の子どもの数はその数倍いると推測します。

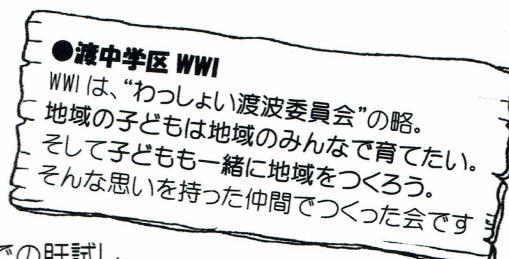
『我慢してくることに意義があり、それが本人のため』という価値観の大人は少なくありません。

子どもは学校で学ばなければならぬ。不登校は学校に戻さなければならぬ。という考えがまだあるとしたら、数が減るのにかなりの時間がかかりそうですね。

考えることはたくさんありますが、“子どもを真ん中に”もっとシンプルにみなさんと一緒に考えていくたいな~と思います。
(けろ)



WWI、お化けに大変身。



昨年のコロナ急増に伴い、延期してしまった渡波小学校、鹿妻小学校での肝試し。

今年になってもコロナはなかなか落ち着きませんでしたが、とうとう10月、11月に行うことができました！

窓や入口に黒いビニールを貼ったり、暗幕をおろして真っ暗にして、学校をお化け屋敷に改造。

トイレの花子さんやマネキンの首、突然出てくるゾンビなど、いろんなお化けに子どもたちからは悲鳴と楽しそうな声がたくさん！

渡波小学校ではWWIの仲間が本気で怖い映像を作り、子どもを何人もリタイアさせていました。子どもたちの驚く姿や楽しそうな姿も嬉しかったですが、なにより嬉しかったのは昨年の延期の時に配った招待状を大事に取っておいた子がいたこと。

「いつやるんだろう！」と冷蔵庫にはった招待状を見て、ずっと楽しみにしてしていました。

また今回はWWIだけではなく各学校のPTAの方や先生方も手伝ってくれて、活動の輪が少しずつ広がってきているなと感じました！いや～、文化祭みたいで楽しかった！またやりたい！
(わこう)



事務局からのお知らせ



「不登校」シンポジウム開催のお知らせ

石巻から『不登校』という言葉をなくすための
『不登校』シンポジウム～多様な学びと地域連携～

- ◆日時:2023年2月5日(日) 13:00~16:00(12:30 開場)
- ◆会場:マルホンまきあーとテラス 大研修室(宮城県石巻市開成1-8)
- ◆対象:行政職員・教職員・NPO等不登校支援に関心のある方
- ◆開催内容:①『不登校とは?』どうして不登校になるんだろう
②『教育機会確保法』について 講師:文部科学省
③地域連携の事例紹介とパネルディスカッション 他
- ◆お申込み・お問い合わせ
下記のアドレスへメールにてお申込みいただき、「お名前」「所属」「電話番号」をご記入ください。
Mail:ishi.ma.iine55@gmail.com

主催:まずは石巻から『不登校』という言葉をなくしたいネットワーク(詳しくはP8をご覧ください)



- ◆定員:50名程度(先着順)



写真はイメージです



創立10周年記念冊子を制作中です！

こどぱにーは2023年1月15日に、団体創立10周年を迎えます。

そこで、こどぱにーの10年間の歩みやこれから実現したい未来像、支援者みなさまの声などを全20ページにまとめた「創立10周年記念冊子“こどもみらいず”」を制作する運びとなりました！

こどぱにーをより深く知りたいだけで、楽しい1冊となるように、スタッフ一丸となって取り組んでいます。お手元に届くまで楽しみにお待ちくださいませ。

また、2月12日(日)に“マルホンまきあーとテラス”にて「創立10周年記念式典」を開催します。同封のチラシをご覧のうえ是非ご参加くださいね！お申込みをお待ちしております！ (みー)



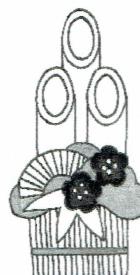
年末年始のお休みのお知らせ



いつも、温かいご支援・ご協力ありがとうございます。
当会では下記日程を年末年始休業とさせていただきます。

12月29日(木)~1月7日(土)

年始は、1月8日(日)より活動いたします。



こどぱにー通信「だん子むし」発行元

認定NPO法人こども∞感ぱにー



宮城県石巻市鹿妻南2-1-7

Mail:info@codopany.org

Tel:070-2436-8517(事務局)

HP: <https://codopany.org/>

<賛助会員募集中>

月額1,000円から、マンスリー会員を募集しております。確定申告をすると、税制優遇により寄付した金額の最大約50%が還付されます。詳しくは、事務局までお気軽にお問合せください。

活動の様子を配信していますので、是非ご覧ください！

Twitter Facebook

こどぱにー

検索

